

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 121

千葉県立市原八幡高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のアおよびイの要件に該当する生徒

ア 中学校での学習活動や特別活動・部活動に熱心に取り組み、優れた実績や貴重な体験を持っている生徒。

イ 向学心が旺盛で、本校入学後も授業を大切に、特別活動や部活動に積極的に参加し、活動する生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査
自己表現	<p>次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択</p> <p>ア 口頭による自己表現 日本語によるスピーチ 実施形態：個人で発表 検査時間：1名1分程度のスピーチ 検査の中で発表内容に関する事柄について質問を行う。</p> <p>イ 実技による自己表現 次の実技のうち1つを選択 野球(男)、サッカー(男)、ソフトボール(女)、バレーボール(女)、陸上競技(男女)、テニス(男女)、バドミントン(男女)、バスケットボール(男女)、卓球(男女)、剣道(男女)、柔道(男女)、吹奏楽(男女) 実施形態：個人またはグループで発表 検査時間：概ね10分程度(種目により異なる) 検査の中で実施種目に関する事柄について質問を行う。</p>

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、エについて加点(上限30点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 自己表現〔75点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（優れている）・c（概ね普通である）・d（問題がある）の4段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～dd）で得点化する。dd の評価の組合せが1つでもある場合、または cd の組み合わせが2つ以上ある場合は審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 志願理由	志願の理由が明確である。 中学時代の活動を通して自分が得たもの、高校生活の目的について、しっかりと述べることができる。
(イ) 意欲・表現力	自分の思いや考えを意欲的にかつ分かりやすく述べることができる。
(ウ) 態度・礼儀	態度・礼儀が、適切である。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 技能	当該種目に関する技能を身に付けている。
(イ) 意欲・積極性	当該種目に意欲を持って積極的に取り組む姿勢が見られる。
(ウ) 態度・礼儀	態度・礼儀が、適切である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	自己表現	
500点	135点	30点	75点	740点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。